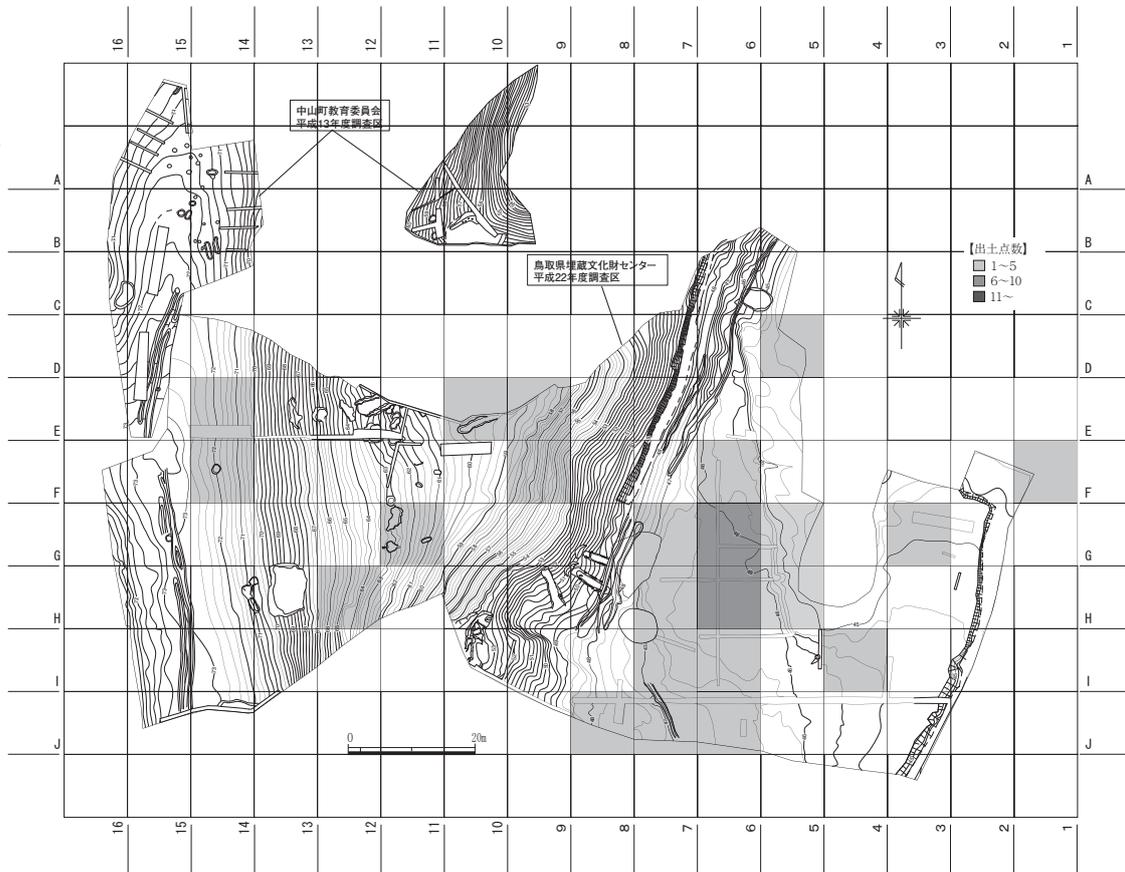
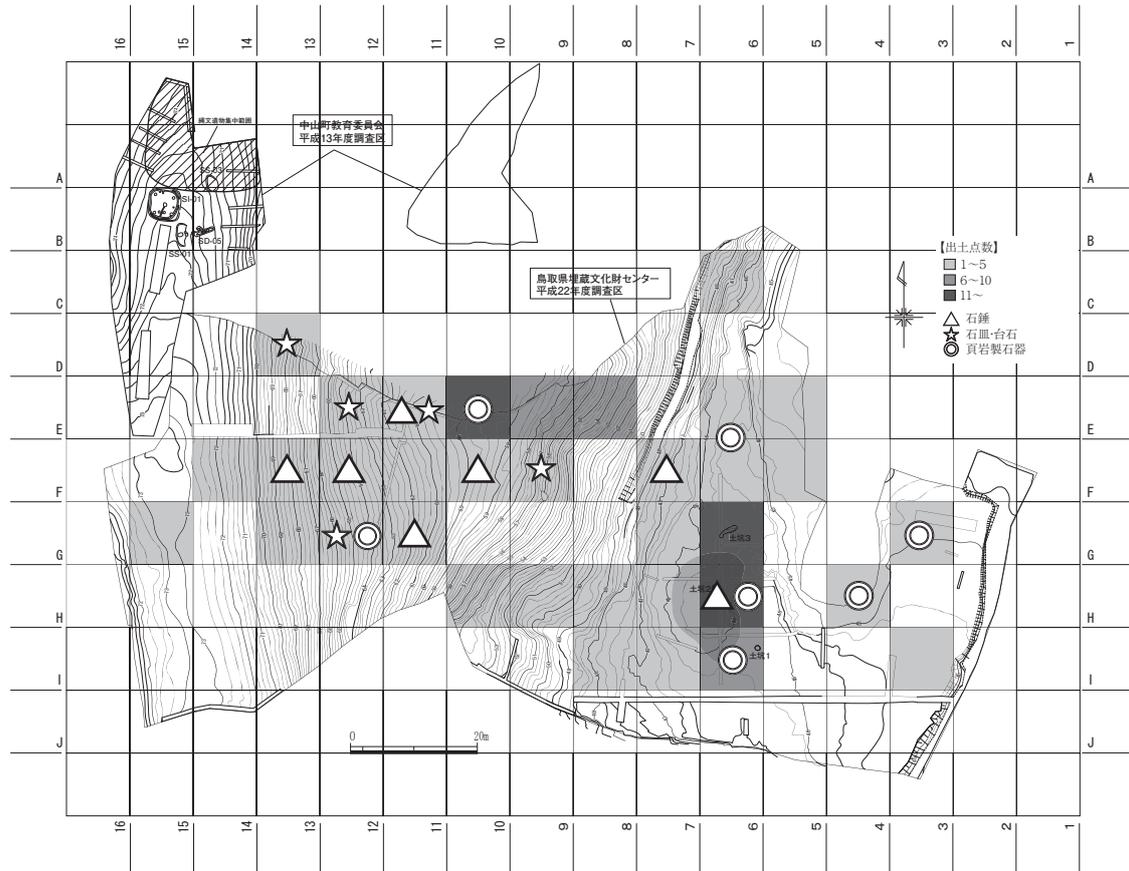


第34図 安山岩製石器出土数量分布図(縄文遺構・包含層)



第35図 安山岩製石器出土数量分布図(古代以降堆積層)

第4章 古墳時代以前の調査



第36図 礫石器・頁岩製石器出土位置と数量分布図

表12 黒曜石製石器グリッド別出土点数(縄文遺構・包含層)

地区・グリッド	遺構/層位	AH	AHBk	Sc	Pt	Dr	DrBk	RF	UF	Fl	PE	PESp	PEFl	Cr	Bk	BT	計	
1区	H6	土坑1								7							7	
	G6	土坑2							1	9							10	
	F6	土坑3								3				1			4	
	H5・H6	縄文流路								1							1	
	E6	縄文流路	1					1		1							3	
	E6・G6	縄文流路								1								1
	F6	縄文流路	1	2	4	1			5	3	184	12	2		9	3		226
	F6・G6	縄文流路			1						6				1			8
	G6	縄文流路	12	11	18	1	1		41	13	1131	49	3	1	45	13	2	1341
	G6・G7	縄文流路									18	1			2			21
	G6・H6・G7・H7	縄文流路	5	1					1		182	1						190
	H6	縄文流路	2	2	3		1		2		114	3			5	2		134
G7	縄文流路	1								11	2						14	
H7	縄文流路	1	2	1				1	1	62	2			5			75	
2区	D9	縄文包含層							2	18							20	
	E9	縄文包含層								23				1			24	
	D10	縄文包含層		1	1			1	1	57	1	1		2	1		66	
	E10	縄文包含層	1								13							14
	F10	縄文包含層									1							1
	D11	縄文包含層									6							6
	E11	縄文包含層									1							1

	AH	AHBk	Sc	Pt	Dr	DrBk	RF	UF	Fl	PE	PESp	PEFl	Cr	Bk	BT	合計
器種別計	24	19	28	2	2	0	52	21	1849	71	6	1	71	19	2	2167

表13 黒曜石製石器グリッド別出土点数(古代以降堆積層)(1)

地区・グリッド	遺構/層位	AH	AHBk	Sc	Pt	Dr	DrBk	RF	UF	Fl	PE	PESp	PEFl	Cr	Bk	BT	計
1区	F6	古代流路		2				1		150	2			4	5		164
	G6	古代流路	6	3	4		1	10	12	533	27	1	11	10			618
	H6	古代流路								13							13
	H6・I6	古代流路								1				1			2
	G7	古代流路								1							1
	E1	古代以降堆積層								1							1
	F1	古代以降堆積層								1							1
	F2	古代以降堆積層								3							3
	G2	古代以降堆積層								2							2
	E3	古代以降堆積層								5			1				6
	F3	古代以降堆積層	1						3	9	1			2			16
	G3	古代以降堆積層	1							14							15
	H3	古代以降堆積層					1			5				1			7
	E4	古代以降堆積層									1						1
	F4	古代以降堆積層			1				2	11			1		1		16
	G4	古代以降堆積層			1				1	2	20						24
	H4	古代以降堆積層							1		32	3					36
	J4	古代以降堆積層								2							2
	C5・D5	古代以降堆積層		2					2	1	28	2				1	36
	D5	古代以降堆積層							2		11	1			1		15
	D5・D6	古代以降堆積層		1						11							12
	D5・E5	古代以降堆積層								9							9
	E5	古代以降堆積層			1				2	24				2			29
	F5	古代以降堆積層								4							4
	G5	古代以降堆積層								2							2
	H5	古代以降堆積層	1							11				1			13
	I5	古代以降堆積層		1								1					2
	B6	古代以降堆積層								4	1						5
	B6・C6	古代以降堆積層								9							9
	C6	古代以降堆積層	3														3
	D6	古代以降堆積層							2	1	6	1					10
	D6・E6	古代以降堆積層		1					3	2	53	1			1		61
	E6	古代以降堆積層	3	1	2				3	1	52	2			4	1	69
	F6	古代以降堆積層	12	2	1				5	2	132	15		2	2	1	174
	F6・G6	古代以降堆積層		1						9							10
	G6	古代以降堆積層	2	2	1				4	1	79	1			1	2	93
	H6	古代以降堆積層	1	1					7	2	126	1			2		140
	I6	古代以降堆積層								3							3
	I6・I7	古代以降堆積層								1							1
	E7	古代以降堆積層					1			24	1			3			29
	F7	古代以降堆積層	5		3				2	4	117	3			6	3	143
	F7・G7	古代以降堆積層								1							1
	F7・G7・H7	古代以降堆積層								1							1
	G7	古代以降堆積層	1							13				2	1		17
	G7・H7	古代以降堆積層							1	12				1	1		15
H7	古代以降堆積層	2						2	1	31	1			3		40	
H7他	古代以降堆積層								3							3	
I7	古代以降堆積層								2					1		3	
1区東平担部	古代以降堆積層								9	3						12	
1区南平担面	古代以降堆積層								1							1	
1区	古代以降堆積層	2		1				3		45	1					52	
1区	不明							3	1	52	3			5	2	66	
2区	C7	古代以降堆積層								2						2	
	D8	古代以降堆積層	2		1			1		32	1					37	
	E8	古代以降堆積層	1					2	1	23			1	2		30	
	F8	古代以降堆積層			1					5						6	
	G8	古代以降堆積層								1						1	
	H8	古代以降堆積層							1	4						5	
	I8	古代以降堆積層	1						1	4						6	
	D9	古代以降堆積層	1		2					67	1			2		73	
	E9	古代以降堆積層								19	1					20	
	D10	古代以降堆積層	4						3	1	110	1		2	1	122	
	E10	古代以降堆積層							1	7	2					10	
	F10	古代以降堆積層	1													1	
	D11	古代以降堆積層	1							2						3	
	F11	古代以降堆積層								1						1	2
	C12	古代以降堆積層								1						1	1
	E12	古代以降堆積層								3						3	3
	F12	古代以降堆積層							1							1	1
	G12	古代以降堆積層													1		1
	C13	古代以降堆積層								1						1	1
	D13	古代以降堆積層								1	2					3	3
E13	古代以降堆積層								2						2	2	
F13	古代以降堆積層								1						1	1	
G13	古代以降堆積層								1						1	1	
C14	古代以降堆積層								3						3	3	
D14	古代以降堆積層								1						1	1	
E14	古代以降堆積層							1	3						4	4	

第4章 古墳時代以前の調査

表14 黒曜石製石器グリッド別出土点数(古代以降堆積層)(2)

地区・グリッド	遺構/層位	AH	AHBk	Sc	Pt	Dr	DrBk	RF	UF	Fl	PE	PESp	PEFl	Cr	Bk	BT	計
2区	F14	古代以降堆積層						1	1	2							4
	G15	古代以降堆積層								5							5
	H14	古代以降堆積層								3							3
	2区	古代以降堆積層	1							8					1		10
	2区斜面	古代以降堆積層								1							1
		AH	AHBk	Sc	Pt	Dr	DrBk	RF	UF	Fl	PE	PESp	PEFl	Cr	Bk	BT	合計
器種別計		52	15	21	0	1	2	70	35	2002	78	2	15	59	21	1	2374

表15 安山岩・流紋岩製石器グリッド別出土点数(縄文遺構・包含層)

地区・グリッド	遺構/層位	石材別計	AH	AHBk	Sc	TS	Dr	RF	UF	Fl	PE	PESp	Cr	Bk	BT	合計
1区	H6	土坑1	An							1						1
	F6	縄文流路	An							2						2
	G6	縄文流路	An					1		21	1		1			24
	G6・G7	縄文流路	An							1						1
	G6・H6・G7・H7	縄文流路	An	45	1					9						10
	H6	縄文流路	An		1	1				1						3
	H7	縄文流路	An							1						1
2区	E9	縄文包含層	An							1						1
	D10	縄文包含層	An							3						3
1区	G6	縄文流路	Rh	1								1				1
			AH	AHBk	Sc	TS	Dr	RF	UF	Fl	PE	PESp	Cr	Bk	BT	合計
器種別計			2	0	1	0	0	1	0	40	1	1	1	0	0	47

表16 安山岩製石器グリッド別出土点数(古代以降堆積層)

地区・グリッド	遺構/層位	AH	AHBk	Sc	TS	Dr	RF	UF	Fl	PE	PESp	Cr	Bk	BT	合計	
1区	F6	古代流路												1	1	
	G6	古代流路							3						3	
	E1	古代以降堆積層						1							1	
	F3	古代以降堆積層						1	1						2	
	H4	古代以降堆積層								1					1	
	C5	古代以降堆積層								1					1	
	I5	古代以降堆積層						1							1	
	E6	古代以降堆積層	1												1	
	F6	古代以降堆積層	2	1					2						5	
	G6	古代以降堆積層	1					1	3						5	
	H6	古代以降堆積層							1	1					2	
	I6・7	古代以降堆積層							1						1	
	F7	古代以降堆積層	1												1	
	G7	古代以降堆積層	1												1	
	H7	古代以降堆積層								1					1	
	H8	古代以降堆積層								3					3	
	I8	古代以降堆積層	1												1	
	2区	D9	古代以降堆積層			1				1						2
		E9	古代以降堆積層							1						1
D10		古代以降堆積層	1												1	
F11		古代以降堆積層	1												1	
G12		古代以降堆積層	1												1	
D14		古代以降堆積層			1	1									1	
E14		古代以降堆積層								1			1		2	
不明	古代以降堆積層	1												1		
		AH	AHBk	Sc	TS	Dr	RF	UF	Fl	PE	PESp	Cr	Bk	BT	合計	
器種別計		11	1	2	1	0	4	0	17	4	0	1	0	1	42	

《凡例》

AH:石鏃 AHBk:石鏃未製品 Sc:スクレイパー Ts:石匙 Pt:尖頭器 Dr:石錐 DrBk:石錐未製品 RF:加工痕のある石器
 UF:使用痕のある石器 Fl:剥片・碎片 PE:両極剥離痕のある石器 PESp:両極剥離痕のある石器削片
 PEF1:両極剥離痕のある石器から剥離された削片 Cr:石核 Bk:プランク BT:石器破片

表17 頁岩・凝灰岩製石器等グリッド別出土点数(縄文遺構・包含層)

地区・グリッド		遺構/層位	石材別計		CAx	PAx	RF	Fl	Cr	BT	計	
1区	G6	縄文流路	An	1	1						1	
	E6・F6・G6	縄文流路	Sh			1		1			2	
	F6	縄文流路	Sh					2			2	
	G6	縄文流路	Sh	16		1		3	1		5	AXFl: 1
	H6	縄文流路	Sh				1	3			4	AXFl: 1
2区	D10	縄文包含層	Sh			1		2			3	
	E9	縄文包含層	Tu	2				1			1	AXFl: 1
	D10	縄文包含層	Tu					1			1	AXFl: 1
					CAx	PAx	RF	Fl	Cr	BT	合計	
器種別計					1	3	1	13	1	0	19	

表18 頁岩・凝灰岩製石器等グリッド別出土点数(古代以降堆積層)

地区・グリッド		遺構/層位	石材別計		CAx	PAx	RF	Fl	Cr	BT	計	
1区	F6	古代流路	Sh					2			2	AXFl: 1
	G6	古代流路	Sh			1	2				3	AXFl: 1
	F3	古代以降堆積層	Sh				2				2	
	G4	古代以降堆積層	Sh							1	1	
	D6・E6	古代以降堆積層	Sh	15		1					1	
	H6	古代以降堆積層	Sh				1				1	
	D8	古代以降堆積層	Sh				1				1	
2区	D10	古代以降堆積層	Sh				3				3	AXFl: 1
	G10	古代以降堆積層	Sh			1					1	
	F12	古代以降堆積層	Tu	1		1					1	
					CAx	PAx	RF	Fl	Cr	BT	合計	
器種別計					0	3	2	10	0	1	16	

表19 礫石器グリッド別出土点数(縄文遺構・包含層)

地区・グリッド		遺構/層位	SW	GS	HS	AS	QS	計
1区	E6・G6	縄文流路		4				4
	F6	縄文流路		6	1			7
	F6・G6	縄文流路		1				1
	G6	縄文流路		12	5			17
	G6・G7	縄文流路		2				2
	H6	縄文流路		3				3
	H7	縄文流路		1				1
2区	D9	縄文包含層		3	1			4
	E9	縄文包含層				1		1
	D10	縄文包含層		1				1
	D11	縄文包含層				1		1
	E11	縄文包含層		1				1
	D12	縄文包含層		1				1
E13	縄文包含層	1					1	
			SW	GS	HS	AS	QS	合計
器種別計			1	35	7	2	0	45

表20 礫石器グリッド別出土点数(古代以降堆積層)

地区・グリッド		遺構/層位	SW	GS	HS	AS	QS	計	
1区	F6	古代流路		1				1	
	G6	古代流路	1	1				2	
	H3	古代以降堆積層		1				1	
	D5・E5	古代以降堆積層		7			1	8	
	B6	古代以降堆積層		1				1	
	D6	古代以降堆積層		1				1	
	F6	古代以降堆積層			1			1	
	E7	古代以降堆積層	1	1				2	
	F7	古代以降堆積層		1				1	
	H7	古代以降堆積層		4				4	
	1区	不明		10	3			13	
	2区	D8	古代以降堆積層		2				2
		H8	古代以降堆積層		1				1
		H8,G8	古代以降堆積層		2				2
		G9	古代以降堆積層		1				1
D9		古代以降堆積層		3				3	
E9		古代以降堆積層		1				1	
D10		古代以降堆積層		4				4	
E10		古代以降堆積層	1	1				2	
D11		古代以降堆積層		1				1	
D11		不明	1					1	
F11		古代以降堆積層		1				1	
D12		古代以降堆積層		1		1		2	
E12		古代以降堆積層	1					1	
F12		古代以降堆積層				1		1	
C13		古代以降堆積層				1		1	
F13	古代以降堆積層			1			1		
E14	不明		1				1		
F15	古代以降堆積層		1				1		
不明	不明		1				1		
			SW	GS	HS	AS	QS	合計	
器種別計			6	48	5	3	1	63	

【凡例】

CAx: 打製石斧 PAx: 磨製石斧 AxFl: 石斧(未製品含む)由来の剥片 SW: 石錘 GS: 磨石 HS: 敲石 AS: 台石・石皿 QS: 凹み石 An: 安山岩 Rh: 流紋岩 Sh: 頁岩 Tu: 凝灰岩

第4章 古墳時代以前の調査

た、遺物が集中するD10グリッドのテラス状地形は北側の調査区外にも続いていることから、遺物分布も調査区北側にも広がっている可能性が高い。また、出土量は多くないが、2区の南側の急斜面にも石器分布が認められる点も注意を要する。斜面出土の石器は地形に沿って拡散するような出土状況を示すことから、本来は尾根上に分布していた可能性がある。なお、平成13年度調査区では、尾根北端部で縄文時代早期末から前期初頭の土器を伴う石器集中域が確認されている(中山町教育委員会2002)。したがって、本調査地では尾根上では遺物分布域を確認できなかったものの、縄文時代早期末から前期初頭に尾根上で活発な人間活動が行われていた可能性が高い。ただし、本調査地内では斜面地の石器分布が縄文時代後晩期の粗製土器の分布と重なることから、尾根北端部の石器分布とは帰属時期が異なる可能性もある。

3 黒曜石製打製石器

(1) 石鏃(第38図、PL.133-2)

総数76点が出土した。63点が1区、13点が2区出土である。このうち、完形のものを中心に30点を図化した。S1～S26は1区、S27～S30は2区出土である。なお、石鏃を含めた黒曜石製石器のうち図示していないものについては法量計測表を掲載した(表32～34)。

以下、凹基式石鏃については、大山町西坪上高尾原遺跡で示した形態分類(鳥取県埋蔵文化財センター2011)を用いて記述する(第37図)。

S1～S6は平面形が正三角形を呈し、挟りが深い一群である。S1・S2の縁辺は直線的でa-1類に該当する。S3・S4はa-1類としたが、やや丸みを帯びた縁辺からc類ともとらえられる。S5・S6は二次調整が進み、縁辺がやや湾曲し挟れたような形状となっていることから、a-2類に分類できよう。S7～S15はb-1類で、平面形が長三角形で、縁辺が直線的な形状を呈している。S16～S21はb-2類である。刃部縁辺の挟れが進行して細身となるとともに、基部の縁辺は丸みを持ち「がに股」状を呈する。S22はd類で、挟りの平面形が逆U字状を呈す。S23・S24はe類に該当し、挟りが非常に浅く弧状を呈する一群である。2区出土のS27～S30は全てb-1類に相当する。

S25・S26は平基式石鏃である。S26は二次調整として両極打撃を行っている特異な資料である。

(2) 石鏃未製品(第39図、PL.133-2)

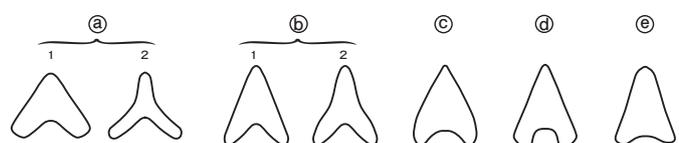
出土総点数34点のうち、2区出土は僅か1点のみで、33点は1区から出土している。

10点を掲載した。S31～S34は、施された調整が周縁のみで、素材の状況を比較的良く窺うことができる。S35・S36は両面ともに調整が進んでいる。縁辺に潰れが認められることから、二次調整で両極打撃が加えられたものとする。S37～S40は、二次調整途中で刃部や基部を欠損している。

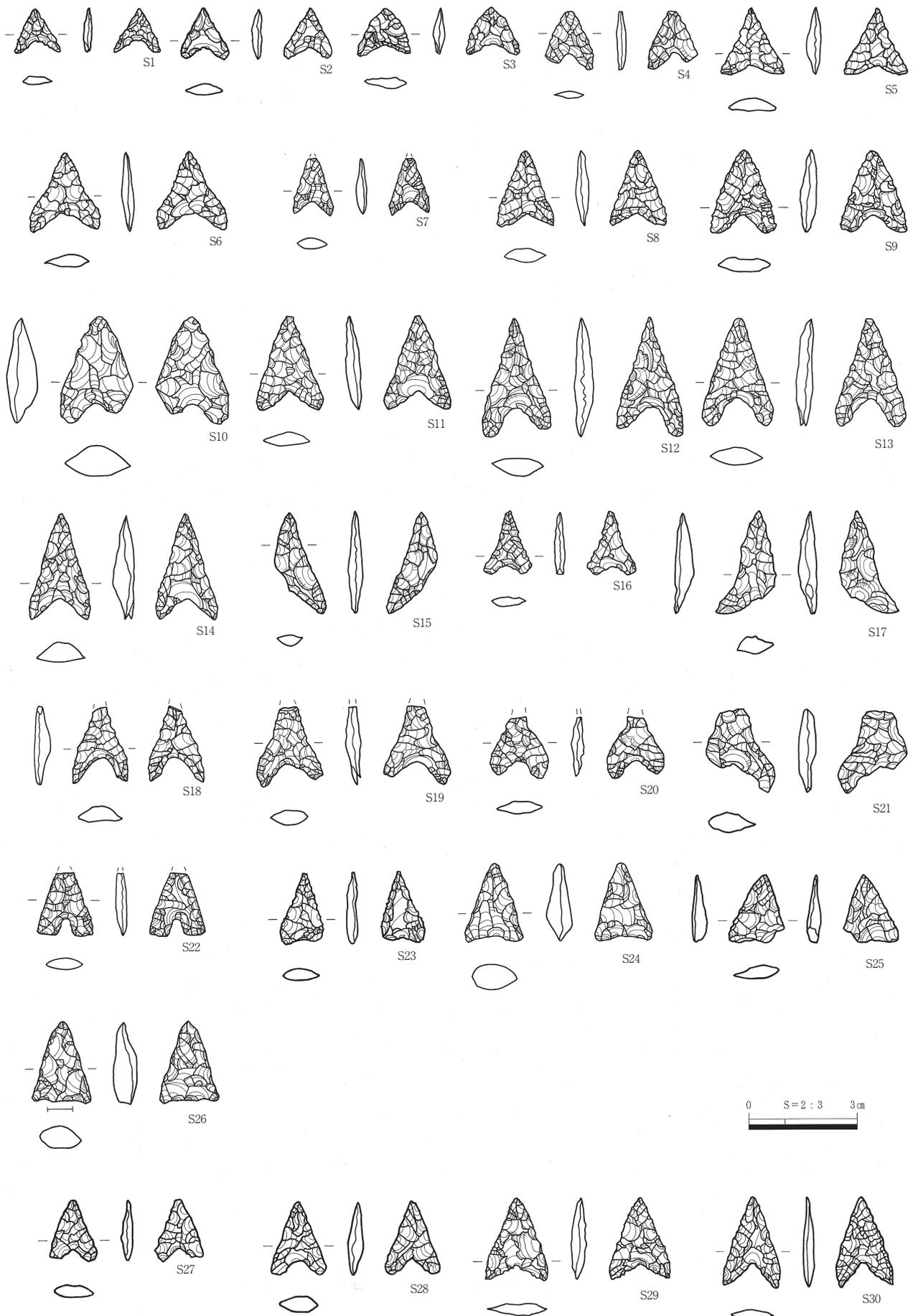
残された素材剥片背面の特徴からは、石核(ブランク)分割面を作業面として素材剥片が作出された可能性が高いもの(S32・S33)、両極打撃によって作出された剥片を素材とした可能性があるもの(S34・S36)を確認できる。

(3) スクレイパー(第40～42図、PL.133-2)

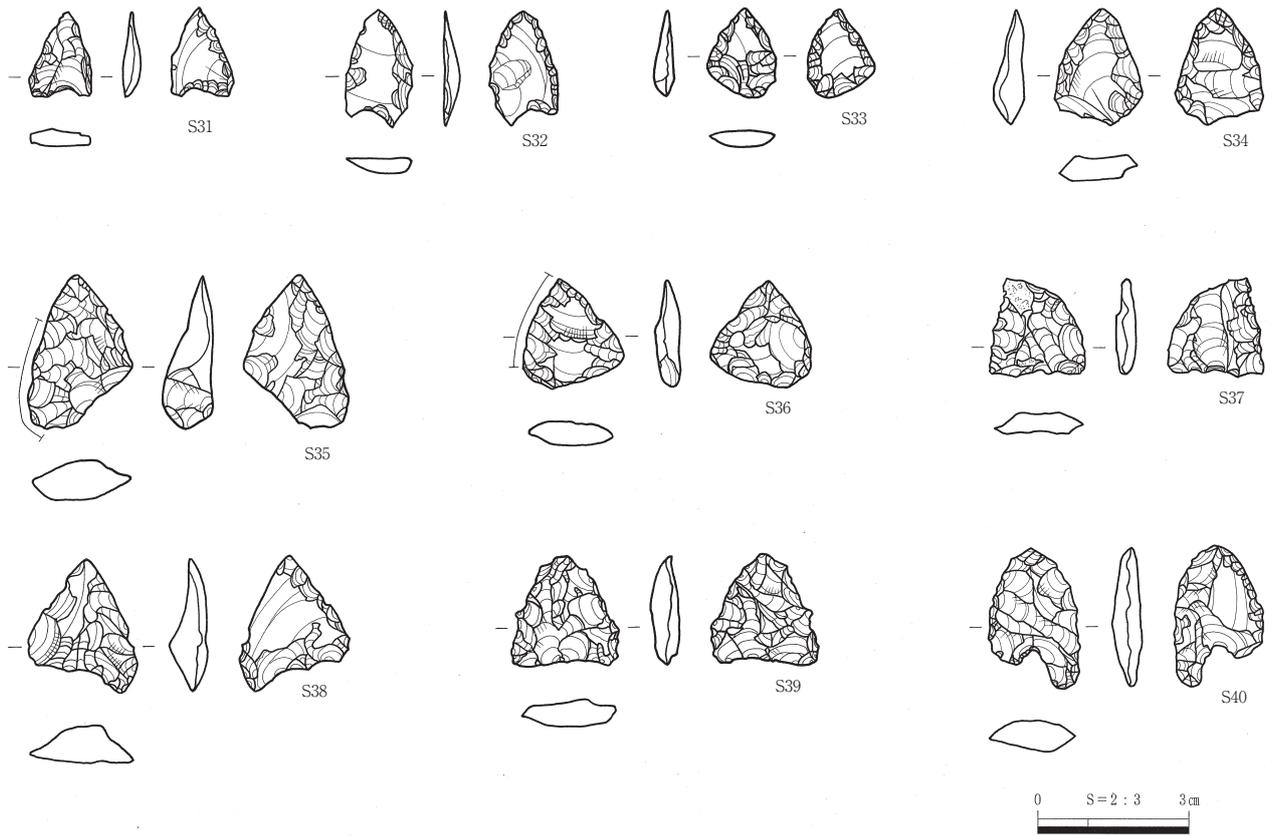
出土総点数49点のうち、44点が1区、5点が2区から出土している。石鏃程度の大きさの小型のものから、かなり大振りなものまでサイズに多様性がある。19点を図化した。



第37図 石鏃形態分類模式図
(鳥取県埋蔵文化財センター2011より転載)



第38圖 黑曜石製石鏃



第39図 黒曜石製石鏃未製品

S41は縁辺に対向する剥離や潰れが認められることから、両極剥離痕のある石器を素材とした可能性がある。刃部に微細剥離痕が見られる。S42は縁辺を中心に両面に調整が施され台形状を呈している。

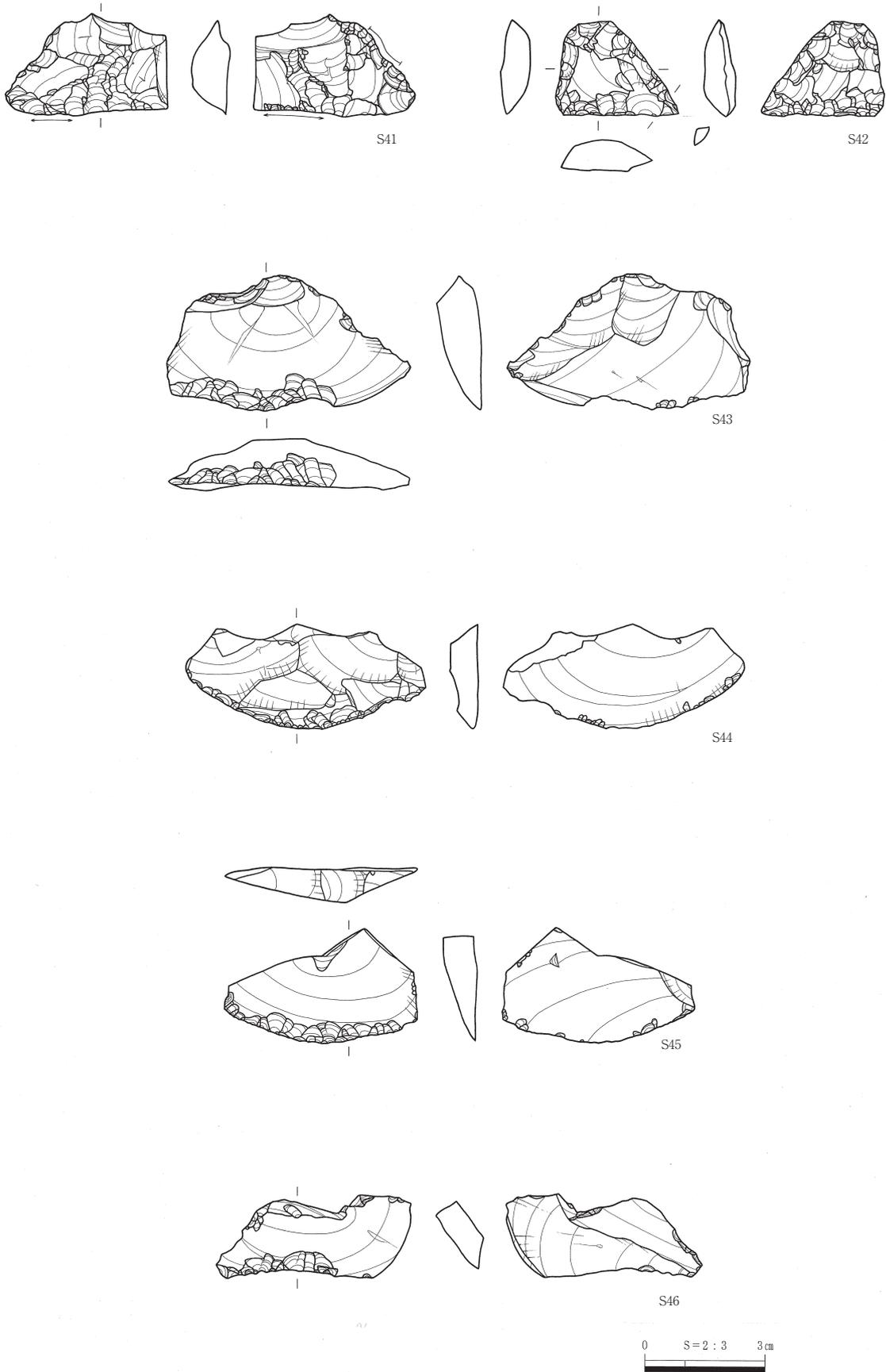
S43～S46は横長剥片の長辺を刃部とするものである。S43～S46は刃部のみに調整を施しており、素材剥片の形状をほとんど変形していない。背面構成が単純なものが多く、剥離の進行していない石核から素材剥片が作出されたことが分かる。

S47～S50は縦長剥片の長辺を刃部とするもので、S47・S48・S50には微細剥離痕が認められる。S47は打面に原礫面を残した大型の剥片を素材とする資料である。素材剥片の主剥離面側に刃部加工が施されている。S48～S50は表面に原礫面を大きく残した素材剥片に刃部加工を施している。

S51・S52は縦長剥片を素材とし、素材主剥離面に打点を残す。S51は側縁を刃部とし、微細剥離が見られる。S52は素材剥片の長辺から短辺にかけて刃部とし、短辺に微細剥離を確認できる。

S53は縁辺に潰れが認められ、両極剥離痕のある石器を素材とした可能性がある。表面には素材の分割面が残されている。S54・S57は小型の剥片を素材とし、側縁を刃部とする。S55は長辺・短辺ともに微細剥離が見られるが、とくに短辺の摩滅が著しく、裏面では面的な摩耗も認められる。折損した石器を再加工した可能性がある。S56は両極剥離痕のある石器由来の剥片を素材とした可能性がある。S58は厚手の剥片を素材とし、短辺を中心に調整を施して刃部としている。表面には原礫面が残るほか、潰れや対向する剥離が認められることから、剥片剥離の進行していない石核から両極打撃によって剥片を作出した状況が窺える。

S59は2区出土資料である。石匙の可能性があり、両面のほぼ全周に刃部加工を施している。



第40図 黒曜石製スクレイパー(1)